

# 浜松市教育総合計画

(平成 19 年度～22 年度)

## 『はままつ 人づくり宣言』

### 検証報告書

平成 23 年 3 月



浜松市教育委員会

1	はじめに	1
2	浜松市教育総合計画（平成 19 年度～22 年度）の評価	1
3	第 2 次浜松市教育総合計画に向けて	2
4	最終年度（平成 22 年度）取組状況	3
5	目標値達成状況の推移	22
6	取組状況の推移	23
参考資料		
	平成 22 年度 取組状況調査票	31

## 1 はじめに

平成 19 年、浜松市教育委員会は、「浜松市教育総合計画『はままつ 人づくり宣言』」を策定した。計画では、教育目標を

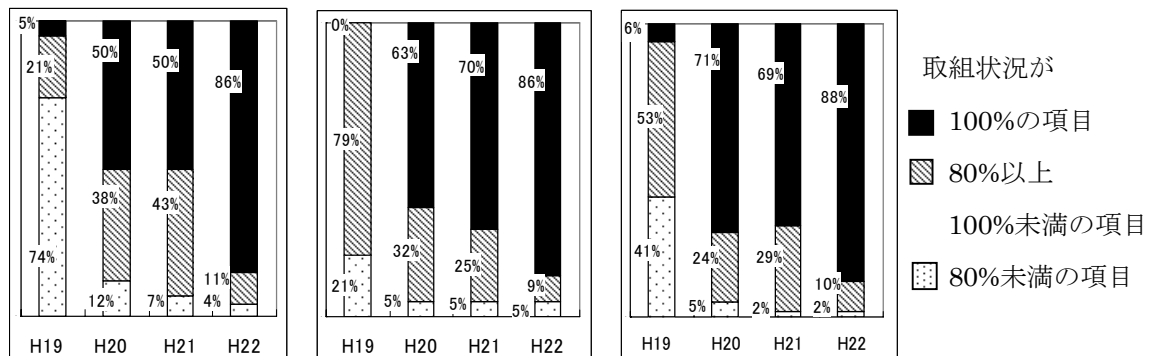
### 「夢と希望をもって学び続ける『世界にはばたく市民』の育成」

とし、計画期間である平成 19 年度から 22 年度までの 4 年間、10 の宣言を掲げて各施策に取り組んできた。そして、平成 19 年度から毎年度、教育総合計画に示された取組について 2 種類の調査（取組状況調査・目標値の達成状況調査）を実施するとともに、外部有識者を交えた会議を開催して、調査結果をもとに、その進捗状況について議論を重ねてきた。これら 4 年間の教育総合計画への取組状況や達成状況から、「浜松市教育総合計画（平成 19 年度～22 年度）」を評価する。

## 2 浜松市教育総合計画（平成 19 年度～22 年度）の評価

<取組状況の 4 年間の推移>

（項目ごとの取組状況推移は p 23～30 参照）



<幼稚園>

<小学校>

<中学校>

4 年間の取組状況の推移を見ると、幼稚園・小学校・中学校ともに、「取組状況 100 パーセント」の項目が大きく増加している。平成 22 年度調査において「取組状況 80 パーセント未満」の項目が一部見られるが、初年度（平成 19 年度）と比較すると、その数は大きく減少した。この結果を見ると、全体的には 4 年間で取組状況は大きく向上したと考えることができる。

具体的な取組内容に目を向けると、各幼稚園・学校では「分かる授業 楽しい保育・授業」を目指し、基礎基本の定着を図ったり子どもたちの興味・関心を高めたりするような教育活動に積極的に取り組んでいる。また、地域の歴史や自然、地域で活躍する人物など、それぞれの地域の特色を生かした教育活動にも前向きに取り組んでいる。支援員や補助員を生かしたきめ細かな指導や、保護者及び外部機関との連携による子ども一人一人のニーズに応じた指導も充実してきている。

これら取組の成果としての目標値の達成状況を見ても、小学生の読書量は4年間で大幅に増加している。「授業の内容がよく分かると答える子どもの割合」や「将来に対する夢と希望をもっていると答える子どもの割合」「朝食を食べる子どもの割合」についても、年度を追うごとに高くなっている。(目標値達成状況の推移はp 22 参照)

このような4年間の取組状況および目標値の達成状況から、「浜松市教育総合計画(平成19年度～22年度)」に掲げた教育目標や教育構想、教育計画が各幼稚園・学校に周知され、計画に基づいた取組がされていると判断し、教育委員会として、次のように評価する。

**浜松市教育総合計画(平成19年度～22年度)に対する取組状況は  
良好である。子どもの表れも望ましい傾向を示してきている。**

### 3 第2次浜松市教育総合計画に向けて

平成19年度からの4年間、「夢をはぐくむ園・学校づくり」や「分かる授業 楽しい保育・授業の実施」をはじめ、様々な施策に取り組んできた結果、各教科における基礎的・基本的な知識・技能を身に付けた子どもや、「きまりや約束を守っている」「人の気持ちが分かる人間になりたい」と考えている子どもたちの割合も高くなってきた。

しかし、子どもたちを取り巻く教育環境は変化し、自分に自信がもてない子ども、物事に粘り強く取り組むことができない子ども、人とうまくかかわることができない子どもが増えてきており、不登校や問題行動等の課題もある。

このようなことから、平成23年度から取り組む「第2次浜松市教育総合計画」では、これまで進めてきたように「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成に努めるとともに、すべての教育活動を通して子どもたちの「心の耕し」を進めていくことが必要と考える。

そのために、人格形成の基盤となる幼児期の教育を充実させること(「幼児教育」の充実)。また、小・中学校の9年間の学びと育ちをつないでいくこと(「小中一貫教育」の推進)。さらには地域の文化・自然・人物等に学ぶ活動を通して、地域への愛着やそこに育つ自分への誇りをもてるような取組を進めること(「学ぼう ふるさと浜松」の推進)。これらを柱として、家庭や地域との連携を一層図り、第2次浜松市教育総合計画を推進していく。

## 4 最終年度（平成 22 年度）取組状況

### 宣言 1 夢と希望をはぐくむ園・学校をつくります

#### 施策 1-1 特色ある園・学校づくり

取組内容	取組状況 (%)		
	幼稚園	小学校	中学校
① 夢と希望をはぐくむための取組	100	100	100
② 子どもや地域の実態に応じた教育課程の編成	100	100	100
③ 地域の人物や資源などを生かした学習・体験	100	100	100
④ 学期ごとの三者面談の実施（二者面談を含む）	89.6	83.2	100

※幼稚園 67 園、小学校 107 校、中学校 48 校における割合

「夢と希望をはぐくむための取組」及び「子どもや地域の実態に応じた教育課程の編成」については、昨年度同様、幼稚園、小学校、中学校ともに 100% の取組状況である。各園・学校で、地域や子どもたちの実態に基づき、夢と希望をはぐくむための教育活動が行われていると判断できる。

特に、今年度重点を置いてきた「地域の人物や資源などを生かした学習・体験」については、幼稚園、小学校、中学校とも、今年度は 100% の取組となった。「学ぼう ふるさと浜松」を合言葉として地域に学び地域に誇りをもてるような子どもたちを育てる取組が展開されるようになったと考えられる。

学期ごとの三者面談は、幼稚園では約 9 割、中学校では 100% の実施率となった。一方小学校については、昨年度より減少している。これは、学期にこだわらず年間 3 回設定したり、一斉に 2 回設定した上で年間を通じた「教育相談日」等を設けたりして、子どもや保護者の実態に合わせてよりきめ細かな対応をする学校が増えたためである。また、小規模で普段から保護者との連携が密にとれているという学校もある。今後も、必要に応じて随時面談が実施できる体制づくりを進めるとともに、定期的に子どもたちの頑張りを保護者に伝えながら、子どもたちが夢と希望をもって学習や様々な活動に取り組んでいけるよう支援や助言をしていく。

#### ◆地域の人物や資源などを生かした学習・体験活動◆

各園・学校では、地域の歴史・文化、自然・環境、偉人・先人を題材とした活動をはじめ、地域の人々や企業等の協力を得た活動を行っている。

幼稚園では、地域の自然を生かした遊びを実施したり地域住民の協力による米や野菜などの栽培・収穫活動を行ったりしている。小学校では、地域の歴史・文化、自然を題材にした学習が多く行われ、該当テーマに詳しい地域の方に協力を得る学校も多い。昔の遊びやものづくり等、地域の様々な「名人」による講座も行われている。中学校では、地域の商店や企業の協力による職場体験、福祉施設の協力による福祉体験が多く行われている。地域の一員として海岸清掃などの貢献活動に取り組む学校も見られる。

【地域の人物や資源などを生かした学習・体験活動の取組例】

幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域の方の指導で、「合鴨農法での米作り」を田植えから脱穀まで行った。また、収穫した米で餅つき、藁でしめ縄づくりをし、米を育てる楽しさと大変さを学んだ。</li> <li>* 地域に伝わる昔話をスライドやペープサートを使いながら聞かせ、現地に出かけて地域の方から話を聞いている。</li> <li>* 川遊びやたけのこ堀り、神社での木の実や木の葉拾いなど、地域の自然を生かした活動を行っている。</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域の偉人である高柳健次郎氏の創造の精神を受け継ぎ、ものづくり体験を計画したり発明工夫コンクールへの挑戦をしたりしている。</li> <li>* 地域の方を講師に招き、昔の遊び、植物の育て方、地域の歴史や文化などについて学んでいる。</li> <li>* 地域のお茶栽培農家の指導を受け、茶の収穫や手もみ茶づくりを行っている。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 1年生は地域の福祉施設での体験活動、2年生は地域の事業所での体験を行っている。</li> <li>* 地域の歴史を学ぶために、地域のお年寄りの家庭に出向いて話を伺う「地域ふれあい体験」を実施している。</li> <li>* 松島十湖にちなんだ俳句の学習を行っている。</li> </ul>

施策 1-3 開かれた園・学校づくり

取組内容		取組状況 (%)		
		幼稚園	小学校	中学校
①	幼稚園や小・中学校の評価システムの確立	100	100	100
②	教育活動理解のための取組内容			
取組内容	ア 園・学校公開	100	100	100
	イ 園・学校・学年・学級だより	100	100	100
	ウ ホームページの充実	83.6	98.1	97.9
	エ 各種懇談会の開催	71.6	72.0	75.0
	オ 園・学校案内（リーフレット）の活用	37.3	44.9	50.0
③	学校評議員制度を生かした園・学校づくり	100	100	100
④	園・学校公開に参加しやすい工夫	100	100	100
⑤	地域の行事や活動への参加呼びかけ	98.5	100	100
⑥	園・学校間の連携・交流	100	100	100
⑦	中学校区内の連携・交流（幼稚園、小・中学校）	100	100	100

※幼稚園 67 園、小学校 107 校、中学校 48 校における割合

「園・学校公開」の取組状況は、幼稚園、小学校、中学校ともに昨年度より上昇し、いずれも 100% となった。また、保護者等が参加しやすいように日程を工夫したり、公開内容の充実を図ったりしている。

教育活動理解のための取組としては、園・学校公開や各種たよりの発行のほか、ホームページの充実等が見られる。小・中学校では 100% に近く、幼稚園も今年度は、8 割以上となった。

どの園・学校でも、保護者や地域住民に自園・自校の教育内容を広く知ってもらい、教職員や子

どもたちだけでなく保護者や地域住民からの評価を取り入れることで、よりよい園・学校づくりに努めている。

#### ◆保護者や地域の声を園・学校改善に生かした取組◆

保護者や地域の声を反映させるため、園・学校では、全体として情報発信について改善するところ多く見られた。ブログを活用しホームページでの情報発信に取り組む学校も増えた。園・学校公開や各種たより、ホームページでの情報公開はこれまでも行われてきたが、今後は、学校の様子を知らせるだけでなく、教育活動の目的や内容を理解してもらうための積極的な情報発信にも取り組んでいく必要がある。

幼稚園では、連絡ノートを活用した保護者との情報交換や登園・降園時を利用した保護者への声掛け等、保護者が相談しやすい雰囲気や体制づくりに努めている。また、地域住民とのふれあいや異年齢・他園の子どもとの交流活動の充実に取り組んだ園も多い。

小学校では、学校公開や行事に保護者等が参加しやすいよう日程を工夫している。また、あいさつを徹底させたいという声から、保護者や地域住民の協力によるあいさつ運動を始めた学校も多い。

中学校では、情報発信や保護者・地域との連携に関わる取組の他に、学力の向上に関する取組として、補充学習等を行った学校もある。

#### 【保護者や地域の声を園・学校改善に生かした取組例】

幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>*子どもの成長を知らせるために、園だよりや学級だよりを工夫した。今までは活動の内容や子どもの様子を主に載せていたが、各活動のねらいや、子どもたちがどのように成長してきたかが分かるようなものにした。</li> <li>*保護者と話す機会を増やし信頼関係を築くために、連絡帳の活用の他、月ごとに教育相談日を設定した。</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>*保護者や地域の要望で、学習発表会を土曜日に開催するようになった。</li> <li>*あいさつができていないという声を受け、クラス単位でのあいさつ運動を毎日行うほか、中学校と連携したあいさつ運動を月2回実施している。</li> <li>*学校の様子や道德教育の様子を地域に知らせてほしいという要望があり、ホームページでの情報公開とあわせて、学校だよりの道德特集号を毎月発行している。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>*学習に関する意見を受け、週3回の補充学習と定期テスト前の講習会を実施している。</li> <li>*保護者が関わる行事等の実施日を分散させることで、保護者の負担を軽減し参加しやすくした。</li> <li>*保護者の声を受け「緊急連絡メールシステム」を導入した。警報発令時などに活用して好評を得ている。</li> </ul>

#### ◆園・学校間の連携・交流◆

「園・学校間の連携・交流」は、昨年度と同様すべての園・学校で行われており、特に中学校区内での幼稚園、小・中学校の連携・交流が意識して行われるようになった。

幼稚園同士の連携・交流の実施率は8割以上、幼稚園と保育所、小学校と保育所の連携・交流の実施率も約4割へと上昇した。連携内容としては、小・中学校職員合同研修が8割以上の学校で行われており、幼稚園を含めた取組も増えた。保育・授業参観、子どもの交流、小学校入学前の情報交換についても実施率が上昇している。

今後は「小中一貫教育」を推進するため、各発達段階での学びや育ちをつないでいくという視点に一層重点を置いて取り組んでいく。

## 【中学校区での連携・交流の取組例】

<p>＜職員同士の連携・交流＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼・小・中合同研修会を開き、各園・学校の実践や課題について教科や担当別に意見を交換する。</li> <li>○中学校区で目指す子どもの姿や今後の活動について、合同研修会で話し合う。</li> <li>○「心の耕し」をテーマに、12年間の教育が滑らかにつながるように話し合う。</li> <li>○公開保育や公開授業などを参観し、互いの指導について理解を深め、系統性を確認する。</li> </ul>
<p>＜子どもの活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園児と保護者が小学校の授業や給食を参観。／小学生と保護者が中学校の授業を参観。</li> <li>○幼稚園児が小学校で生活科の授業や読み聞かせに参加。／小学生が中学校の授業を体験。</li> <li>○小学生が幼稚園児に、または中学生が小学生に、自分たちの学校の生活を紹介。</li> <li>○小学生が中学校の体育大会や文化発表会を見学。／中学生が小学校で合唱や演技を披露。</li> <li>○小学生が幼稚園児に体操や踊り等を教えたり、作った紙芝居を披露したりした。</li> <li>○中学生による、小学校や幼稚園の行事の運営や準備の手伝い。(運動会、卒園式)</li> <li>○音楽発表会で、小・中学生が合同で演奏。</li> </ul>

## 宣言2 豊かな心と健やかな体を育てます

### 施策2-1 こころの教育の推進

取組内容	取組状況 (%)		
	幼稚園	小学校	中学校
① 道徳の授業公開		100	100
② 道徳教育の充実 (道徳性の芽生えを培う指導)	100	100	100
③ 読書活動の推進	100	100	100
取組内容	朝読書		98.1
	読み聞かせ		100
	授業における学校図書館の活用		90.7
	学校図書館補助員との連携		100
④ 人権教育の推進	100	100	100
2泊以上の宿泊訓練		78.5	77.1

※幼稚園 67 園、小学校 107 校、中学校 48 校における割合

各園・学校ではすべての教育活動を通じて道徳教育の充実に努めている。道徳の授業公開も今年度は 100% の取組となった。今後は、参観会等で道徳の授業を公開することで、教員だけでなく参観する保護者等の意識を高めていくことにもつなげていく。

今年度、市では独自のマナー読本『はままつマナー』を作成した。これは子どもたちに身につけてほしいマナーや人とのかかわり方を、発達段階に沿って 3 種類の冊子にまとめたものである。今後、学校の教育活動の中で活用するとともに、家庭への啓発も図っていく。

宿泊訓練については、その目的から 2 泊以上が好ましいとしているが、実施率はやや低い。これは複数学年、または全校で宿泊訓練を実施している学校が、低学年児童に無理のないよう 1 泊で実施していることなどによる。

◆**道徳教育（道徳性の芽生えを培う指導）充実のための取組内容**◆

幼稚園では、子ども同士のトラブルや葛藤場面を生かして互いの気持ちに気づかせたり、絵本の読み聞かせ、栽培・飼育活動、様々な人とかかわりを通して豊かな心をはぐくんだりしている。また、降園前に振り返りの時間を設定して園児自身の気づきを引き出す工夫をしている園も多い。

小・中学校では、校内研修や学年研修で授業の展開について話し合ったり、互いに授業を公開し合ったりして道徳授業の充実を図っている。また、すべての教育活動を通して道徳性を培うために、教科や他の領域と関連づけた指導や道徳教育全体計画の作成も進められている。道徳に対する意識を高めるために、道徳の掲示コーナーを設けたり、「こころの日」を設定して全校で命の大切さや思いやりなどについて考えたりする学校も見られる。

**【道徳教育充実のための取組例】**

幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>*1日の中で振り返りの時間を必ず設定し、個々のよい面を知らせたり、困ったことを話し合ったりして心の育ちにつなげている。</li> <li>*週日案の反省の中に、道徳性や規範意識につながる子どもの姿を記入する欄を設け、意識して保育実践ができるようにしている。</li> <li>*異年齢活動を計画し、年少児への思いやりや年長児への信頼感を育てている。</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>*道徳教育推進教師が発行する「道徳だより」を通して、道徳の教材の扱い方や効果的な指導方法などの情報をタイムリーに職員全体へ知らせている。</li> <li>*すべての学級および廊下に「心の耕しコーナー」をつくり、子どものよい表れを掲示している。</li> <li>*参観会で全学級一斉に道徳授業を行い、保護者アンケートを実施して学校だよりで紹介した。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教師による生徒への語りかけを工夫し、その実践を冊子にまとめて互いに紹介し合った。</li> <li>*集会のない月曜日を中心に「心のノートの日」を定め、朝読書の時間に資料を読んだり担任からの語りかけを行ったりしている。</li> <li>*道徳の授業を全校一斉に行い、毎週の学年会で、振り返りを行っている。</li> </ul>

**施策2-2 文化活動の推進**

取組内容	取組状況 (%)		
	幼稚園	小学校	中学校
① 音楽文化に親しむ心の育成	100	100	100
② 地域の伝統芸能や文化を大切にする心の育成	71.6	100	100

※幼稚園 67 園、小学校 107 校、中学校 48 校における割合

「音楽文化に親しむ心の育成」は 100%の取組状況である。また、市では音楽教育の充実を図るために、子どもたちが音響効果のよい会場で演奏を発表する機会を設けてきた。今年度は 13 中学校が各地域のホールを使用して発表会を開催した。

「地域の伝統芸能や文化を大切にする心の育成」は、幼稚園、小・中学校とも実施率が上昇した。地域の人物・資源を生かした学習・体験活動を通して、地域の文化に目を向け大切にする心をはぐくむ取組が進められている。

施策 2-3 体力の向上

施策 2-4 健康教育の推進

施策	取組内容	取組状況 (%)		
		幼稚園	小学校	中学校
2-3	① 基礎体力の向上		100	100
	② スポーツへの意欲・関心の喚起		100	100
2-4	① 保健指導・保健学習の充実		100	100
	② 食に関する指導の充実	100	99.1	95.8

※幼稚園 67 園、小学校 107 校、中学校 48 校における割合

どの学校でも体力の向上や保健指導・保健学習の充実に努めており「食に関する指導」についても、栄養職員をはじめとした食育リーダーを中心に各学校で実施されている。市では 10 月に、農薬や化学肥料の使用量が少ない浜松地域ブランド米「やら米か」の米飯を市内の全小・中学校に配食し、子どもたちに食材に関する話をするなど、食に対する意識の向上を図った。食習慣は家庭で築かれる部分が大きいため、今後は家庭との連携に一層力を入れていく。

**宣言 3 確かな学力を育成します**

施策 3-1 基礎・基本の定着

施策 3-2 学習意欲の向上と学習習慣の確立

施策	取組内容	取組状況 (%)		
		幼稚園	小学校	中学校
3-1	① 少人数指導や TT 等の指導の充実		100	100
	② 小学校高学年における教科担任制		100	
	③ 支援員・補助員・キッズサポーターの有効な活用	100	100	100
	④ 市定着度調査の活用		100	100
3-2	① 「分かる授業 楽しい保育・授業」の充実	100	100	100
	② 市教委指導課発行資料の活用	100	100	100
	③ 授業ガイダンスの実施		97.2	100
	④ 評価規準の明示		70.1	83.3
	⑤ 学習習慣の確立		100	100

※幼稚園 67 園、小学校 107 校、中学校 48 校における割合

どの園・学校でも、支援員等を活用したり、少人数指導や TT など指導形態を工夫したりしながら「わかる授業 楽しい保育・授業」に取り組んでいる。また、小学校高学年における教科担任制も全小学校で行われている。支援員・補助員・キッズサポーターについては、市として年々配置を充実してきた。今年度は、小学校学習支援員 110 人、キッズサポーター 145 人などが配置され、個に応じた指導・支援充実のために不可欠な存在となっている。

「評価規準の明示」は、小学校での実施率が昨年度より上昇して 7 割となった。今後も、評価規準を効果的に示したり、発達段階に合った方法で授業ガイダンスを行ったりして、子どもたちの学習意欲を高めていく。

なお、小学校では平成 23 年度から、中学校では平成 24 年度から新学習指導要領が全面実施されるため、各学校では既に昨年度までに、新指導要領についての研修やカリキュラムの見直し、小学校での外国語活動の充実などの取組を行ってきた。今年度は、新学習指導要領に沿った授業のあり方や教材の研究、時間割の見直し等による授業時数確保の取組、新指導要領で重視されている言語活動の充実に焦点を当てた取組が進められている。小学校では、カリキュラム全体の見直しとともに、新たに採択された教科書に沿った具体的な指導計画の作成も行われている。

#### 【新学習指導要領実施に向けての取組例】

小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 年間指導計画を見直すとともに、学年団研修の時間を利用し、新単元や移行された学習内容について指導内容を確認したり教材研究を行ったりしている。</li> <li>* 各教科の授業の中で交流の場を設定し、子どもたちが積極的に発言できる雰囲気づくりに心がけて言語活動の充実に努めている。</li> <li>* 外国語活動の研究授業を利用し、外国語活動の基礎について共通理解を図っている。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 年度初めに、全教科で年間指導計画を作成した。</li> <li>* 各教科において、実験や観察のレポート作成など、知識・技能の活用を図る学習活動の充実に努めている。</li> <li>* 新学習指導要領を先取りして、2・3年生の外国語の授業を週 4 時間実施している。</li> </ul>

### 宣言 4 ニーズに応じた子ども支援をします

#### 施策 4-1 教育相談の充実

取組内容	取組状況 (%)		
	幼稚園	小学校	中学校
① 教育相談の充実	100	100	100
② スクールカウンセラーや各種機関等との連携・協力	100	100	100

※幼稚園 67 園、小学校 107 校、中学校 48 校における割合

「教育相談の充実」および「スクールカウンセラーや各種機関との連携・協力」は、昨年度同様すべての幼稚園、小・中学校で行われている。

幼稚園では、子どもたちの実態の把握に努めるとともに、「子育て相談日」の設定、連絡帳の活用、登園・降園時の保護者との情報交換の工夫等により、保護者が気軽に子どもの様子や子育てについて相談できるような体制をつくっている。また、必要に応じて家庭訪問相談員の派遣を要請し、保護者の支援を行っている。

小・中学校では、日頃の子どもたちの様子に目を配るだけでなく、アンケートを定期的実施するなどして子どもたちの心の状態の把握に努めるとともに、生徒指導主任・主事や教育相談担当を中心にして相談体制の充実に努めている。また、スクールカウンセラーや各種相談機関と連携して、子どもや保護者への対応にあたっている。

保護者や各種機関との連携が必要なケースが増えているため、今年度はスクールソーシャルワーカーを市内に 8 人配置した。一部の地区での配置であったが、今後、市全体への対応ができるよう配置を工夫していく。

◆スクールカウンセラー等の配置◆

- スクールカウンセラー 全中学校区および市立高等学校へ計 49 人配置
- スクールソーシャルワーカー 東区および事務局に計 8 人配置
- 家庭訪問相談員 教育相談支援センターに 2 人配置し、園・学校の要請で派遣  
その他、教育相談支援センターや各区役所社会福祉課で常時相談に応じている。

施策 4-2 不登校の子どもへの支援

取組内容		取組状況	
		小学校	中学校
① 不登校の子どもや保護者への支援体制の機能		65校	44校
② 連携・協力している施設・機関			
連 携 先	適応指導教室	25校	38校
	チャレンジ教室	4校	17校
	ほっとエリア阿多古	9校	7校
	医療機関	57校	39校
	その他	32校	12校

※不登校児童生徒が在籍している小学校 67 校、中学校 45 校が対象

不登校の子どもが在籍する学校では、複数の教員もしくは全校体制で本人や保護者への支援にあたっている。また、適応指導教室や医療機関をはじめとした各関係機関との連携にも努めている。その他、時間外登校や別室登校への対応や学習支援を行っている。しかし、このような取組にもかかわらず、不登校の子ども数は依然として多い。不登校になる理由が多様化し、複雑な背景を抱えるケースも増えるなど、対応の難しさを挙げる学校もある。

今後もすべての児童生徒が楽しく通えるような学校づくりを目指すとともに、子どもたちの様子を多くの教員で見守りながら、支援が必要な場合には、学級担任だけでなくチームで対応する体制を整えていく。また個々のニーズを見極めて、スクールカウンセラーや各関係機関との連携を積極的に行っていく必要がある。

【不登校の子どもへの支援のための取組例】

小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>*不登校の子どもを全職員で共有する場を設定し、家庭訪問や個別指導などに複数の職員で対応している。</li> <li>*区役所社会福祉課の相談員と定期的に連絡を取り合い、家庭の様子を情報交換したり対応について話し合ったりしている。</li> <li>*家庭とのつながりを切らないよう、手紙交換、電話連絡、家庭訪問を行っている。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教員のカウンセリング技量向上のための研修機会を設けたり、安心して登校しやすい環境づくりに努めたりしている。</li> <li>*生徒指導主事、不登校担当、スクールカウンセラーを中心としたチームで、ケース会議を開いて対応している。</li> <li>*支援員と協力し、少しの時間でも別室登校して学習活動ができるよう、個別に支援計画を作成している。</li> </ul>

◆適応指導教室・チャレンジ教室・ほっとエリア阿多古◆

市内5か所ある適応指導教室へは、合計80人ほどの子どもたちが通っている。また、適応指導教室通級者以外の子どもたちも対象とする「チャレンジ教室」では、年間16回の活動が生まれ、毎回20人前後の子どもたちが参加した。このうち14回は「ほっとエリア阿多古」での田植えやマス釣り、そば打ちなどの体験活動である。これらは豊かな自然の中で地域の人々の温かい心にふれるよい機会となっている。「ほっとエリア阿多古」については、昨年度よりも各学校に活動が周知されるようになり、連携・協力している機関として挙げる学校も増えた。

◆不登校の状況◆

		小学生	中学生	合計
平成19年3月		210人	663人	873人
20年3月		219人	681人	900人
21年3月		210人	666人	876人
22年3月		212人	671人	883人
参 考	21年9月	90人	444人	534人
	22年9月	108人	433人	541人

※不登校児童生徒数は、年間30日以上欠席した児童生徒の数

施策4-3 障がいのある子どもへの支援

取組内容	取組状況 (%)	
	小学校	中学校
① コーディネーターを中心にした校内支援体制の確立	100	100
② 個別の支援計画、指導計画の作成と活用	100	100

※支援が必要な児童生徒が在籍する小学校105校、中学校45校における割合

各学校では、発達支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制をつくり、子どもの実態を把握するとともにすべての職員との情報の共有化を図って、一人一人の子どものニーズに応じた支援・指導ができるよう努めている。個に応じた指導・支援として、複数の教員で授業を行ったり、発達支援教室を設置したりするほか、言葉かけや教材提示のしかた等も工夫している。また発達相談支援センター（ルピロ）等の専門機関と連携して指導や助言を受けたり、ケース会議や専門家会議を開いたりして、よりよい支援ができるよう努めている。

今後も、校内の支援体制の充実とともに専門機関との連携を一層図ることで、個々のニーズに応じた支援を継続していくことが必要となる。それと同時に、子どもたちが互いに助け合い学び合える学級・学校づくりに努める必要がある。

【障がいのある子どもへの支援のための取組例】

幼稚園	<p>*障がいのある子どもへの支援について全職員で共通理解を図っている。また、キッズサポーターと連携し、必要に応じて園児に付き添うことで、安定した生活ができるようにしている。</p> <p>*まず保護者との信頼関係を築くため、保護者、幼稚園、関係機関の連携を密にし、支援方法を工夫している。</p>
-----	---

小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>*医療機関と連絡をとり、保護者を招いてケース会議を開き、相互理解のもとに支援体制をつくっている。</li> <li>*障がいをもつ子どもへの接し方についてスクールカウンセラーから講義を受けたりし、支援について全職員で共通理解を図っている。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>*発達支援教室を設け、個別指導を行っている。</li> <li>*今年度導入された校務支援システムを利用して、全職員で情報の共有化を図っている。</li> <li>*教師が説明をする際は、できるだけゆっくり話すとともに図示を多くしている。また、日課の変更はできるだけ避けている。</li> </ul>

◆発達支援教室・発達支援学級・通級指導教室の数（22年度）◆

発達支援教室	54教室（小学校 39、中学校15）
発達支援学級	159学級（小学校103、中学校56）
通級指導教室	23教室（言語14、LD等9）

昨年度と比べ、発達支援教室14、発達支援学級4、通級指導教室5の増加。

◆キッズサポーター・スクールヘルパー・発達支援教育指導員の配置（22年度）◆

支援員等の種類	人数
キッズサポーター（幼稚園）	146人
スクールヘルパー（小・中学校）	83人
発達支援教育指導員（小・中学校）	95人

昨年度と比べ、キッズサポーター19人、スクールヘルパー10人、発達支援教育指導員15人の増員。

施策4-4 外国人の子どもへの支援

取組内容	取組状況（%）	
	小学校	中学校
外国人の子どもへの支援	100	100

※支援を必要とする外国人児童生徒が在籍する54小学校、32中学校における割合

今年度、市内の小・中学校には約1500人の外国人児童・生徒が在籍しており、各園・学校では外国人児童生徒就学支援員や外国人児童生徒就学サポーターと連携しながら、支援が必要な外国人の子どもへの支援をしている。また、「教育相談支援センター」や日本語教室「はまっこ」などとも連携しながら、外国人の子どもが日本の学校生活に適應できるよう努めている。

◆外国人の子どもへの支援のための取組内容◆

幼稚園	○園生活への適應を図る取組	
	*声かけを増やす	*具体物を示しながらゆっくり話す
	*該当園児の母語を使ってあいさつをする	
	*他の園児とかかわるきっかけを意図的につくる	
○家庭との連携や保護者への支援	*連絡を密にとる	*持ち物や行事について個別に説明をする
	*たより類にふりがなをふる	*懇談の際には通訳派遣を要請する

小 ・ 中 学 校	○個別の学習支援の実施	
	*個別指導や授業内での支援	*放課後の学習支援
	*独自の学習テキストを作成して活用	*NPO やボランティアの協力による支援
	○家庭との連携や保護者への支援	
	*文書等の翻訳版の配布	*外国人保護者を対象とした懇談会の開催

◆外国人児童・生徒支援のための教室や機関◆

○日本語教室「はまっこ」、母国語教室「まつっこ」

市内 8 か所で日本語教室「はまっこ」を開設し、日本語指導や教科指導を実施している。9 月末現在で小学生 118 人、中学生 38 人、計 156 人が通級している。また、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語に対応した母国語教室「まつっこ」も 3 か所で計 4 教室開設されており、9 月末現在で小学生 253 人、中学生 22 人、計 275 人が通級している。

○派遣型支援教室「まなぶん」

要請に応じて支援員を学校へ派遣し、初期日本語指導、授業補助、放課後学習支援を行うことで学校生活への適応を図っている。11 月までに、のべ 47 校 129 人の子どもたちへの支援を行った。

○教育相談支援センターによる支援

学校の要請に応じて相談員が訪問し、児童生徒及び教職員への指導・助言、通訳・翻訳業務を行っている。平成 21 年度は、学校訪問 263 件、センターでの相談 390 件を行った。この他に、平成 23 年度小学校入学予定の子どもがいる家庭を対象にしたガイダンスを 10 月に 2 回行い、それぞれ親子 40 人程が参加した。

◆外国人児童生徒就学支援員・サポーターの人数◆

	外国人児童生徒 就学支援員	外国人児童生徒 就学サポーター
平成 19 年度	4 人	25 人
20 年度	8 人	30 人
21 年度	11 人	35 人
22 年度	14 人	40 人

◆外国人児童・生徒数の推移◆

	小学生	中学生	合計
平成 19 年 4 月	1,156 人	402 人	1,558 人
平成 20 年 4 月	1,237 人	463 人	1,700 人
21 年 4 月	1,161 人	477 人	1,638 人
22 年 4 月	996 人	507 人	1,503 人

◆外国人生徒高校進学率◆

平成18年度	75.6%
19年度	73.7%
20年度	72.9%
21年度	77.0% (97人)
うち	公立全日制 42人
	私立 18人
	公立定時制 35人
	通信制 2人

**宣言5 社会の変化に対応できる能力を育成します**

- 施策5-1 ものづくり教育の推進
- 施策5-2 国際理解教育の推進
- 施策5-3 環境教育の推進
- 施策5-4 福祉教育の推進
- 施策5-5 情報化に対応する教育の推進
- 施策5-6 キャリア教育の推進

取組内容		取組状況	
		小学校	中学校
① 社会の変化に対応できる能力を育成するための取組 (複数回答可)			
内 容	ものづくり教育	25校	8校
	国際理解教育	53校	12校
	環境教育	89校	21校
	福祉教育	91校	39校
	情報教育	59校	18校
	キャリア教育	54校	48校
	職場体験実習の実施		47校

※小学校107校、中学校48校が対象

社会の変化に対応するための取組は、各学校が主に総合的な学習の時間や特別活動等において取り組んでいる内容である。どの学校でも今日的な課題を教育課程に反映させ、子どもたちが社会の中で生きていくための力をはぐくもうとしている。

小学校では、環境教育と福祉教育への取組が8割以上となっている。また、情報教育については、情報や情報機器を正しく安全に活用する力の育成が必要と感じられているからであると感じて取り組んでいる。一方中学校では、福祉教育とキャリア教育を重点として実施している学校が多く、地域の施設や企業等の協力による福祉体験学習や職場体験学習を取り入れている。

### 【各項目の具体的な取組例】

ものづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 木工製品を制作して販売する「キッズチャレンジビジネス」を実施している。</li> <li>* 「ものづくり体験教室」で、地域住民を講師として招き講座を開設している。</li> </ul>
国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 国際理解週間を年2回設定し、異文化理解の授業を各学年で実施している。</li> <li>* 6年生の修学旅行に、JICA 国際理解教育をプログラムとして取り入れている。</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 都田川をテーマとし、漁協の協力を得ながら生物環境の実態調査、アユの放流、環境保全の取組を行っている。</li> <li>* 佐鳴湖の自然をテーマとし、外部人材を活用した講座の開催や自然観察等の体験活動を行っている。</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 全学年で浜松聴覚特別支援学校との交流を30年以上継続して行っている。</li> <li>* 全学年を対象に福祉ボランティアを募集し、近隣のデイサービスセンターや老人ホームでボランティア活動を行っている。</li> </ul>
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 携帯電話の利用のしかたについて講座を行った。</li> <li>* 年度当初に、生徒および保護者を対象とした情報講座を実施している。</li> </ul>
キャリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 各界で活躍する人物を講師として招き、夢をもち努力することの大切さを学んでいる。</li> <li>* 社会人である卒業生を20人程度招き、「生き方講座」を開催している。</li> </ul>

### 宣言6 学校と家庭の連携を深めます

施策6-1 豊かな心を育てる家庭教育の支援

施策6-2 こども家庭部との連携

施策6-3 PTA活動の充実

取組内容	取組状況 (%)		
	幼稚園	小学校	中学校
① 家庭教育への支援	100	100	100
PTA活動の充実	100	100	100

※幼稚園 67 園、小学校 107 校、中学校 48 校における割合

家庭教育の支援、PTA活動の充実ともに、今年度100%の取組となった。各園・学校では、家庭の役割や子どもへの接し方等について、学校・学年だよりを活用したり、懇談会や講演会を開催したりして、家庭教育への支援をしている。

PTA活動では、学校の日常活動や行事における協力のほか、独自に会員同士の交流や親子の交流ができるような行事を企画したり、子育てに関する啓発のための取組を行ったりして、活動の充実を図っている。また、PTA活動の活性化のために組織や活動を見直すなどの取組もされている。

子どもたちのすこやかな成長には、家庭の果たす役割が大きい。今後、学校から家庭への支援や連携とともに、PTA活動を通して保護者同士がネットワークを築き、共に子育てについて考えることができる場をつくっていくことがますます重要になる。

◆PTA 活動充実のための取組◆

幼稚園	<p>○保護者の家庭教育への意識を高めるため、保護者同士をつなぎ、教育活動を理解してもらうような活動を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*子どもとともに野菜栽培・収穫・調理</li> <li>*父親を巻き込んだお泊り会</li> </ul> <p>○自主的なサークル活動を推進している。その活動を、園の教育活動の中で生かす取組がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*絵本の読み聞かせ</li> <li style="text-align: right;">*食育のエプロンシアター</li> <li>*保育に必要な道具の作成</li> </ul>
小学校	<p>○様々なボランティアによる日常活動や環境整備への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*読み聞かせ</li> <li style="text-align: right;">*花壇整備</li> <li>*ベルマーク運動</li> </ul> <p>○親子がともに活動できる行事や講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*三世代グランドゴルフ大会</li> <li style="text-align: right;">*餅つき大会</li> <li>*ものづくり講座</li> <li style="text-align: right;">*天文教室</li> </ul> <p>○家庭教育の啓発を目的とした活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*地区ごとの子育て懇談会</li> <li style="text-align: right;">*「ノーテレビデー」の展開</li> <li>*あいさつや手伝いの推進</li> <li>*家庭でのしつけ充実のためのアンケートと結果の公表</li> </ul> <p>○子どもたちの安全に関わる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*PTA 主催の交通安全教室の開催</li> <li style="text-align: right;">*交通安全パトロール</li> </ul>
中学校	<p>○学校行事への参加と運営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*体育大会等での受付・会場係</li> <li style="text-align: right;">*合唱コンクールでの PTA 合唱</li> </ul> <p>PTA 主催各種行事の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*バザー</li> <li style="text-align: right;">*奉仕活動</li> </ul> <p>○子どもたちの様子を見守る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*あいさつ運動</li> <li style="text-align: right;">*祭典や長期休業中の補導</li> <li>*夜間パトロール</li> </ul>

◆預かり保育の状況◆

平成 22 年度から新たに白脇幼稚園での預かり保育を実施し、計 18 園での実施となった。平成 23 年度は可美幼稚園においても預かり保育を実施する。

## 宣言7 学校と地域の連携を強化します

施策7-1 地域のネットワークづくり

施策7-2 青少年健全育成会活動の推進

施策7-3 生涯学習施設と学校の連携

地域の自治会、老人会、青少年健全育成会とは、ほとんどの園・学校が連携・協力しており、半数以上の小・中学校ではボランティア団体との連携も行っている。具体的な連携・協力の内容として、幼稚園では、地域のお年寄りとのふれあい活動や地域の協力を得ての体験活動が多く行われている。小学校では地域や健全育成会と連携したあいさつ運動やボランティアによる読み聞かせ、公民館や地域の運動会等への子どもの参加が多い。中学校では、生徒が地域の行事に参加するだけでなく、ボランティアとして準備や運営の手伝いをする中で地域の一員としての意識を高めることにつなげている。

生涯学習施設の中では、公民館、図書館と連携している園・学校が多い。公民館の行事には、子どもが参加したりボランティアとして運営の手伝いをしたりしている。また、どの園・学校でも、体験活動や調べ学習、教科での学習において、図書館をはじめとした生涯学習施設との連携を図り、それぞれの教育活動の充実を図っている。

今後も地域と連携・協力する中で、地域に根ざした人づくりを進めていく。また、各施設の専門性や特色を生かして連携を図ることにより、学ぶ意欲を高め、豊かな心をはぐくんでいく。

### 【地域や生涯学習施設との連携・協力の取組例】

幼稚園	<ul style="list-style-type: none"><li>* 地域の老人ケア施設を訪問し、手遊びや肩たたきをしてふれ合っている。</li><li>* 芋掘りやおやつ作りで、JA 婦人部と交流している。</li><li>* 図書館の団体絵本貸し出しや本のリクエストを利用する。</li><li>* 地域のボーイスカウトとの自然遊び体験を実施している。</li></ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"><li>* 博物館の所蔵品を借りて社会科の授業で活用した。</li><li>* 「おでかけ図書館」を依頼して調べ学習の方法について指導を受けたり、学習支援パックを借りたりした。</li><li>* 健全育成会と連携して、あいさつ運動や地域クリーン作戦を行っている。</li></ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"><li>* 公民館まつりに作品を出品したり、ボランティアとして参加したりしている。</li><li>* NPO の協力により赤ちゃんとふれ合う「パパ・ママ体験」を実施した。</li><li>* 吹奏楽部が、地域行事に参加したり福祉施設を訪問して演奏したりしている。</li><li>* 科学館のイベントへ生徒を派遣した。</li></ul>

## 宣言8 魅力ある先生を育てます

- 施策8-1 教職員研修の充実
- 施策8-2 教職員の適正配置
- 施策8-3 教職員に対する支援の充実
- 施策8-4 人材づくりに向けた新たな取組

取組内容	取組状況 (%)		
	幼稚園	小学校	中学校
① 「はままつ発 教師宣言」に基づく意識の高揚	100	100	100
② 校内研修の充実	100	100	100
③ 校外研修参加のための体制づくり	100	100	100

※幼稚園 67 園、小学校 107 校、中学校 48 校における割合

### ◆魅力ある先生を育てるための取組内容◆

幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教員の持ち味や特技を生かせるよう工夫している。 * 特技を生かせる分掌や担当の割り振り * 得意なことを学び合う</li> <li>○ 互いに忌憚のない意見が言えたり、相談できたりする体制や雰囲気をつくる。</li> <li>○ 各種研修会への参加を通して視野を広げ、専門性を高める。</li> <li>○ 近隣の幼稚園をはじめとした他園との合同研修を実施する。</li> <li>○ 外部の講師を招き、専門的な見地から意見をもらう、指導技術を学ぶ。</li> </ul>
小・中・中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ベテランの教員の指導技術や思いを若手教員に伝える。 * 校内教師塾 * ミニ研修会 * 教職員評価に「後輩指導」を盛り込む</li> <li>○ 研究授業の事前・事後研修の工夫をしている。 * ワークショップ型の事後研修 * 事前研修での模擬授業</li> <li>○ 外部講師（大学教授、退職校長、他校教員、カウンセラー等）を招く。</li> <li>○ 各教員の特性を生かしたり伸ばしたりする。 * 得意な指導法を紹介する時間を設定 * ミニ講話・実技研修 * 日報での紹介</li> <li>○ 視野を広げるための取組 * 研究発表会への参加 * 県外優良校視察 * 社会体験の機会をもつ</li> <li>○ 日常的に授業を見合うことにより指導力向上を図る。 * 気軽に授業を見合う * 「プチ授業参観」 * 「ワンポイント授業公開」</li> <li>○ 意見交換や相談ができる雰囲気・体制をつくる。 * 校務分掌にチームで取り組む</li> <li>○ 子ども理解を深める研修や、対応についての研修 * 事例研修 * 特別な支援が必要な子どもについての研修</li> <li>○ 学び・育ちをつなぐための取組 * 9年間をつなぐ系統的な授業づくり * 幼小中合同研修会の実施</li> </ul>

### ◆天竜川・浜名湖地区総合教育センターでの研修◆

天竜川・浜名湖地区総合教育センターでは、経験研修や各種職務研修をはじめ、様々な教育課題に対応した研修を行っている。今年度は、園・学校からのニーズが高い発達支援に関する研修を、昨年度より1回増やして9回行った。今後は、経験者研修や職務研修のさらなる充実とともに、「はまつの教育」の柱の一つとなる「小中一貫教育」にかかわる研修などに力を入れていく。

◆浜松教師塾の取組◆

確かな指導技術を身に付け、心の通う人間味あふれる教師を育てることを目的に創設された「浜松教師塾」は3年目を迎えた。今年度は、養護教諭と発達支援の塾を新たに立ち上げ、計20の塾で取り組んでいる。塾内で保育・授業や日常指導を互いに参観し協議を重ねることで、「分かる授業 楽しい保育・授業」のために「師範」の指導技術や思いを「塾生」に伝えている。また、各園・学校内で浜松教師塾と同様の取組をしている学校もあり、浜松教師塾の取組が広がりを見せている。今後もこの成果を伝え、教員相互の指導技術の向上を図っていく。

◆教職員採用状況◆

		19年度	20年度	21年度	22年度
小学校	受験者	239人	224人	209人	229人
	合格者	51人	63人	67人	63人
	受験倍率	4.7倍	3.5倍	3.1倍	3.6倍
中学校	受験者	246人	237人	236人	280人
	合格者	30人	35人	50人	55人
	受験倍率	8.2倍	7.6倍	4.7倍	5.1倍
養護	受験者	53人	51人	40人	40人
	合格者	7人	1人	4人	6人
	受験倍率	7.6倍	5.1倍	1.0倍	6.7倍

**宣言9 教育環境づくりを進めます**

施策9-1 安心安全な園・学校づくり

施策9-2 学校施設等の整備

施策9-3 望ましい教育環境づくり

取組内容	取組状況 (%)		
	幼稚園	小学校	中学校
① 安全教育の充実	100	100	100
② 安全ボランティア等との連携	83.6	100	87.5

※幼稚園67園、小学校107校、中学校48校における割合

どの園・学校でも、防犯、防災、交通安全教育を計画的に実施し、自分の身を自分で守る力を育てている。これらの取組を警察署や消防署、警備会社等の協力を得ながら進めている園・学校が多い。また、体験的な訓練を取り入れたり、子どもたち自身で地域の危険箇所を確認したりすることにより安全・防災意識を高める工夫をしている。防犯教育では、不審者への対応だけでなく、インターネット等の情報機器に関する防犯教室を実施している学校も見られる。

◆安全教育の取組例◆

幼稚園	*園外保育を毎月行い、その中で道路の歩き方や横断の仕方などを指導している。 *学期ごとに防犯訓練を計画し、寸劇を交えて子どもたちに伝えている。 *毎月避難訓練や防犯訓練を実施し、年に2回は消防署や警察署の指導を受けている。
-----	---

小学校	<p>* 交通教室や交通安全リーダーと語る会とは別に、子ども自身が交通安全について考えたり見直したりする機会を年に2回設けている。</p> <p>* 消防署や防災設備業者と連携し、消火体験や煙体験を取り入れた避難訓練を行っている。</p> <p>* 自治会と協力して「子ども110番の家」への駆け込み訓練を実施している。</p>
中学校	<p>* 防災訓練の際に、地区ごとに避難場所に集合して自主防災隊員から話を聞いたり、防災倉庫の確認をしたりした。</p> <p>* 不審者侵入を想定した抜き打ちの訓練を行った。</p> <p>* 携帯電話やインターネットの安全利用に関する講演会を実施した。</p>

#### ◆AED（体外式除細動器）の配置◆

心疾患系死亡事故を防止する手立ての1つとして、AEDの配置を進めてきた。平成20・21年度には全小・中学校、今年度は全幼稚園への配置が完了した。また、教職員や中学生対象の救急蘇生法講座を実施して、その使用方法について周知を図った。

#### ◆学校施設の耐震化◆

学校施設の耐震化については「平成23年度末までに100パーセント」を目標としていたが、1年早く、平成22年度末までに全ての学校施設の耐震化を終える。

#### ◆校務支援システムの導入◆

今年度より、市内全小・中学校へ校務支援システムを導入した。名簿管理、成績処理、通知表作成ができ、児童・生徒の様子について教員間で情報を共有することも可能である。システムが市内で統一されたことで、どの学校でも同じ方法で校務処理ができることとなった。

#### ◆小1 35人学級編制試行◆

子ども一人一人にしっかりと目を向けられる教育環境をつくるために、今年度「小1 35人学級編制」の試行を始めた。今年度は該当校13校で35人学級編制を行っている。実施した調査の中で、保護者からは「子どもをしっかりと見てもらえて安心である」「早く小学校生活に慣れることができた」などの声が聞かれた。学級担任や学校からは「一人一人に目が行き届き、個々に応じた指導・支援がしやすい」「落ち着いた雰囲気での授業ができている」との声が聞かれ、その効果が確認された。

##### 「小1 35人学級編制」の内容

- 小学生1年生を対象に35人学級編制を行う。これにより学級数が増える学校には、講師1人を配置する。
- 施設的な課題（教室不足）で35人学級編制が導入できない学校については、1年生の少人数指導充実のための講師を1人配置する。
- 35人学級編制を実施すると25人以下の学級が生ずる場合には、導入しない。

### ◆通学区域制度の弾力的運用の試行◆

今年度より、通学区域制度の弾力的運用を市内全域において試行している。これは、小学校または中学校へ入学する児童・生徒について、一定条件のもとで、入学する学校を変更できる制度である。今年度この制度を利用して指定校以外の学校へ入学した児童・生徒は、小学校で 111 人、中学校で 138 人であった。なお、希望した理由として多かったものは、「通学の距離や時間の短縮」「部活動の種類」「学校の特色・雰囲気」である。

#### 「通学区域制度の弾力的運用」の内容

- 小学校入学時 浜松市立小学校で「(指定校より) 自宅から最も近い小学校」または「自宅の指定中学校区内にある小学校」のうちから 1 校を希望できる。
- 中学校入学時 浜松市立中学校で指定校の通学区域と境界を接する「隣接校」のうちから 1 校を希望できる。

## 宣言 10 教育改革を推進します

- 施策 10-1 教育改革に向けた取組
- 施策 10-2 環境の変化に対応した教育行政
- 施策 10-3 広報活動の充実
- 施策 10-4 奨学金制度等の充実

### ◆学校・幼稚園規模適正化◆

平成 20 年 3 月に策定した「浜松市学校・幼稚園規模適正化基本方針」に基づき、子どもたちの教育環境向上をめざして取り組んでいる。小規模対象園・校のすべての地域で保護者との意見交換会を実施した。

#### 規模適正化の動き

- 平成 22 年 4 月 田沢小、渋川小、久留女木小の 3 校が統合し、引佐北部小が開校  
川名小を井伊谷小に統合
- 平成 23 年 4 月 五島小、遠州浜小の 2 校が統合し、南の星小が開校  
内野幼稚園、内野北幼稚園の 2 園が統合し、内野幼稚園（新設）が開園  
宮口幼稚園大平分室が宮口幼稚園に統合

### ◆学校給食業務の民間委託◆

今年度は、小・中学校 4 校と給食センター 1 施設の学校給食調理業務を、新たに民間へ委託した。これにより、自校方式 110 校のうち 35 校、学校給食センター 6 施設のうち 2 施設が民間委託となった。

### ◆移動教育委員会「語り合おう！はままつの教育！」の開催◆

教育委員会の役割や活動を周知するとともに「はままつの教育」について理解と協力を得ることを目的として、今年度市内 4 会場で「語り合おう！はままつの教育！」を開催した。教育委員会議事に続き、予め設けたテーマに沿って参加者との意見交換を行った。計 138 人が参加し、第 2 次浜松市教育総合計画や不登校の子どもたちへの支援等を中心に意見を交換した。

## 5 目標値達成状況の推移

### (1) 幼稚園・学校の目標値に対する達成状況

指 標	年度	1 8	1 9	2 0	2 1	2 2	目標値	
授業の内容がよくわかると答える子どもの割合 (%)	小学生	88.0	88.5	91.9	91.8	92.6	95	
				低 93.1	低 92.1	低 93.5		
				中 91.7	中 91.8	中 93.2		
				高 90.9	高 91.5	高 91.0		
	中学生	68.0	77.3	80.9	83.4	84.1	85	
学習内容定着度調査における正答率(%)	小学生	85.2	83.5	84.6	85.0	84.2	各教科 90	
				国 85.0	国 87.8	国 87.4		
				算 84.2	算 82.1	算 81.0		
	中学生	68.7	69.1	70.1	70.6	69.3	各教科 90	
				国 74.3	国 74.5	国 69.2		
				数 64.1	数 64.5	数 62.4		
英 71.8	英 72.9	英 76.3						
将来に対する夢と希望をもっている と答える子どもの割合 (%)	小学生	84.0	86.6	88.1	88.6	90.2	90	
				低 89.9	低 90.6	低 92.1		
				中 88.7	中 89.0	中 90.6		
				高 85.8	高 86.2	高 88.0		
	中学生	75.0	71.0	71.6	74.3	75.4	80	
子どもの読書量 (冊) ※年間冊数	小学生		76.2	86.8	87.0	96.8		
				低 114.9	低 117.2	低 132.3		低 115
				中 94.0	中 88.7	中 95.6		中 95
				高 51.5	高 55.1	高 62.6		高 55
	中学生		22.0	18.7	18.5	21.3	20	
新体力テスト8種目 中全国平均を上回る 種目数平均 (種目)	小学生	7.4	7.6	7.7	7.5	7.3	7.8	
	中学生	6.8	7.0	7.7	7.8	7.4	7.8	
	高校生	6.0	6.0	7.3	7.0	7.8	8.0	
朝食を食べる子どもの割合 (%)	幼稚園児	98.8	98.5	99.1	99.1	99.2	100	
	小学生	98.1	98.4	98.7	98.7	98.7	100	
	中学生	94.7	95.8	95.9	95.9	96.4	100	

### (2) 教育環境の目標値

	1 8年度	1 9年度	2 0年度	2 1年度	2 2年度	目標値
発達支援教育指導員の配置	36 人	52 人	66 人	80 人	95 人	69 人
スクールヘルパーの配置	78 人	73 人	73 人	73 人	83 人	73 人
キッズサポーターの配置	88 人	88 人	100 人	132 人	146 人	149 人
発達支援学級の設置	127 学級	141 学級	153 学級	155 学級	159 学級	必要に応じ 増設

## 6 取組状況の推移(平成19年度～22年度)

### (1) 幼稚園

※  は、全ての幼稚園で取り組むこと(100%)を目指す項目

取組内容		19年度 (%)	20年度 (%)	21年度 (%)	22年度 (%)
<b>宣言1 夢と希望をはぐくむ園・学校をつくります</b>					
1-1	夢と希望をはぐくむ取組	100.0	100.0	100.0	100.0
	子どもや地域の実態に応じた教育課程	95.6	100.0	100.0	100.0
	地域の人物・資源を生かした学習・体験			88.1	100.0
	学期ごとの三者面談	26.5	79.4	85.1	89.6
1-3	園評価システムの確立	77.9	100.0	100.0	100.0
	教育活動理解のための取組内容 (1つ以上選択)				
	◇保育公開			85.1	100.0
	◇園・学年・学級だより		97.1	97.0	100.0
	◇ホームページ	67.7	54.4	68.7	83.6
	◇各種懇談会		44.1	52.2	71.6
	◇園案内(リーフレット)			37.3	37.3
	地域に開かれた園づくり		98.5	100.0	100.0
	保育公開・園行事に参加しやすい工夫	70.6	100.0	100.0	100.0
	地域の行事や活動への参加呼びかけ	63.2	92.7	91.0	98.5
	園・学校間の連携・交流	83.8	100.0	100.0	100.0
	◇他園と		73.5	76.1	82.1
	◇保育所と		27.9	34.3	40.3
	◇小学校と		98.5	100.0	100.0
	◇中学校と		76.5	79.1	88.1
	◇特別支援学校と		4.4	4.5	4.5
	◇高等学校と		63.2	65.7	62.7
	◇専門学校と			0.0	1.5
	◇大学と		5.9	3.0	6.0
	中学校区内の幼・小・中との連携・交流			100.0	100.0
	◇職員合同研修			65.7	74.6
	◇幼稚園教員の小学校での授業			9.0	1.5
	◇保育・授業参観			92.5	94.0
◇合同保育・合同授業			46.3	53.7	
◇園・学校行事における子どもの交流			83.6	92.5	
◇中学生の保育体験			79.1	83.6	
◇入学前の情報交換			86.6	100.0	
◇その他			10.9	7.5	
<b>宣言2 豊かな心と健やかな体を育てます</b>					
2-1	道徳性の芽生え・思いやりの心を培う指導	79.4	100.0	100.0	100.0
	読書活動の推進	73.5	95.6	100.0	100.0
	人権教育の推進	52.9	98.5	97.0	100.0
2-2	音楽文化に親しむ心の育成	72.1	100.0	92.5	100.0
	地域の伝統芸能や文化にふれる機会の設定	35.5	51.5	65.7	71.6
2-4	食に関する指導の充実	95.6		98.5	100.0

取組内容		19年度 (%)	20年度 (%)	21年度 (%)	22年度 (%)
<b>宣言3 確かな学力を育成します</b>					
3-2	「分かる授業・楽しい保育・授業」の実践	94.1	100.0	100.0	100.0
	市教委指導課発行資料の活用		100.0	98.5	100.0
	キッズサポーターの有効な活用			100.0	100.0

<b>宣言4 ニーズに応じた子ども支援をします</b>					
4-1	教育相談の充実	61.8	100.0	100.0	100.0
	教育相談支援センター等との連携・協力	55.9	98.5	100.0	100.0
4-3	障がいのある子どもへの支援の工夫				(記述)
4-4	外国人の子どもへの支援の工夫				(記述)

<b>宣言6 学校と家庭の連携を深めます</b>					
6-1	家庭教育への支援		98.5	95.5	100.0
6-3	PTA活動の充実		98.5	100.0	100.0

<b>宣言7 学校と地域の連携を強化します</b>					
	連携・協力している団体・施設				
	◇地域(自治会・老人会等)		97.1	94.0	94.0
	◇青少年健全育成会		64.7	67.2	65.7
	◇ボランティア団体		39.7	49.3	31.3
	◇公民館		33.8	34.3	32.8
	◇図書館		29.4	31.3	38.8
	◇博物館		0.0	1.5	0.0
	◇青少年の家		1.5	3.0	1.5
	◇美術館		2.9	3.0	1.5
	◇天文台			6.0	4.5
	◇科学館		11.8	19.4	22.4
	◇かわな野外活動センター			4.5	7.5
	◇その他		25.0	22.4	25.4

<b>宣言8 魅力ある先生を育てます</b>					
8-1	「はままつ発 教師宣言」に基づく意識の高揚	77.9	100.0	98.5	100.0
	園内研修の充実	76.5	94.1	89.6	100.0
	園外研修参加のための体制作り	73.5	100.0	95.5	100.0

<b>宣言9 教育環境づくりを進めます</b>					
9-1	安全教育の充実		91.2	97.0	100.0
	安全ボランティア等との連携		69.1	79.1	83.6

(2) 小学校

※   は、全ての小学校で取り組むこと(100%)を目指す項目

取組内容		19年度 (%)	20年度 (%)	21年度 (%)	22年度 (%)
<b>宣言1 夢と希望をはぐくむ園・学校をつくります</b>					
1-1	夢と希望をはぐくむ取組	91.1	100.0	100.0	100.0
	子どもや地域の実態に応じた教育課程	96.4	100.0	100.0	100.0
	地域の人物・資源を生かした学習・体験			100.0	100.0
	学期ごとの三者面談	76.8	94.5	92.7	83.2
1-3	学校評価システムの確立	91.1	100.0	100.0	100.0
	教育活動理解のための取組内容 <span style="float: right;">(1つ以上選択)</span>				
	◇学校公開			96.4	100.0
	◇学校・学年・学級だより		96.4	100.0	100.0
	◇ホームページ	79.5	79.1	98.2	98.1
	◇各種懇談会		55.0	66.4	72.0
	◇学校案内(リーフレット)			42.7	44.9
	学校評議員制度を生かした学校づくり	84.8	100.0	100.0	100.0
	学校公開に参加しやすい工夫	84.8	100.0	99.1	100.0
	地域の行事や活動への参加呼びかけ	80.4	100.0	100.0	100.0
	園・学校間の連携・交流	84.8	98.2	100.0	100.0
	◇幼稚園と	70.5	79.1	100.0	100.0
	◇保育所と		26.4	32.7	43.9
	◇小学校と		76.4	89.1	75.7
	◇中学校と	83.2	84.6	100.0	100.0
	◇特別支援学校と		23.6	22.7	35.5
	◇高等学校と		17.3	16.4	16.8
	◇専門学校と			0.0	0.9
	◇大学と	5.3	5.5	11.8	7.5
	中学校区内の幼・小・中との連携・交流			100.0	100.0
	◇職員合同研修			81.8	83.2
	◇中学校教員の小学校での授業			22.7	23.4
	◇小学校教員の中学校での授業			4.5	3.7
	◇幼稚園教員の小学校での授業			1.8	1.9
	◇保育・授業参観			68.2	72.9
	◇合同保育・合同授業			27.3	14.0
	◇園・学校行事における子どもの交流			77.3	76.6
◇中学生の保育体験					
◇小学生の部活動体験			29.1	30.8	
◇入学前の情報交換			100.0	100.0	
◇その他			10.9	14.0	

取組内容		19年度 (%)	20年度 (%)	21年度 (%)	22年度 (%)
<b>宣言2 豊かな心と健やかな体を育てます</b>					
2-1	道徳の授業公開			98.2	100.0
	道徳教育の充実	94.6	100.0	100.0	100.0
	読書活動の推進	94.6	100.0	100.0	100.0
	◇朝読書		99.1	99.1	98.1
	◇読み聞かせ		99.1	99.1	100.0
	◇授業における学校図書館の活用		92.7	90.0	90.7
	◇学校図書館補助員との連携		96.4	99.1	100.0
	人権教育の推進	76.8	99.1	100.0	100.0
2泊以上の宿泊訓練	96.4	77.3	75.5	78.5	
2-2	音楽文化に親しむ心の育成	89.3	100.0	100.0	100.0
	地域の伝統芸能や文化を大切にする心の育成	41.1	90.9	98.2	100.0
2-3	基礎体力の向上	97.3	100.0	100.0	100.0
	スポーツへの意欲・関心の喚起	85.7	100.0	100.0	100.0
2-4	保健指導・保健学習の充実	92.0	100.0	100.0	100.0
	食に関する指導の充実	86.6	93.6	93.6	99.1

<b>宣言3 確かな学力を育成します</b>					
3-1	少人数指導やTT等の指導の充実	91.1	95.5	100.0	100.0
	小学校高学年における教科担任制	82.1	100.0	100.0	100.0
	支援員・補助員の有効な活用	99.1	100.0	100.0	100.0
	全国学力調査や市定着度調査の活用	94.6	100.0	100.0	100.0
3-2	「分かる授業 楽しい保育・授業」の充実	96.4	100.0	100.0	100.0
	市教委指導課発行資料の活用		100.0	98.2	100.0
	授業ガイダンスの実施	46.4	83.6	91.8	97.2
	評価規準の明示	49.1	56.4	54.5	70.1
	学習習慣の確立			100.0	100.0

<b>宣言4 ニーズに応じた子ども支援をします</b>					
4-1	教育相談の充実	89.1	98.2	100.0	100.0
	スクールカウンセラーや各種機関等との連携・協	70.5	100.0	100.0	100.0
4-2	不登校の子どもや保護者への支援体制の機能	91.1	100.0	100.0	97.0
	連携・協力している施設・機関				(1つ以上選択)
	◇適応指導教室			20.9	23.4
	◇チャレンジ教室			4.5	3.7
	◇ほっとエリア阿多古			0.9	8.4
	◇医療機関			44.5	53.3
◇その他			20.9	29.9	
4-3	障がいのある子どもへの校内支援体制の確立	98.2	100.0	100.0	100.0
	個別の支援計画・指導計画の作成と活用		94.6	100.0	100.0
4-4	外国人の子どもへの支援	72.2	98.3	100.0	100.0

取組内容		19年度 (%)	20年度 (%)	21年度 (%)	22年度 (%)	
<b>宣言5 社会の変化に対応できる能力を育成します</b>						
①	◇ものづくり教育		10.0	13.6	23.4	
	◇国際理解教育		21.8	37.3	49.5	
	◇環境教育		58.2	72.7	83.2	
	◇福祉教育		51.8	70.9	85.0	
	◇情報教育		18.2	30.9	55.1	
	◇キャリア教育		10.0	37.3	50.5	
	② 職場体験の日数					
	◇1日					
	◇2日					
	◇3日					
◇実施していない						

<b>宣言6 学校と家庭の連携を深めます</b>					
6-1	家庭教育への支援		98.2	97.3	100.0
6-3	PTA活動の充実		100.0	99.1	100.0

<b>宣言7 学校と地域の連携を強化します</b>					
連携・協力している団体・施設 <span style="float: right;">(1つ以上選択)</span>					
	◇地域(自治会・老人会等)		100.0	98.2	98.1
	◇青少年健全育成会		90.9	89.1	93.5
	◇ボランティア団体		43.6	45.5	60.7
	◇公民館		57.3	60.9	63.6
	◇図書館		36.4	47.3	45.8
	◇博物館		21.8	34.5	50.5
	◇青少年の家		4.6	4.5	11.2
	◇美術館		4.6	9.1	6.5
	◇天文台			10.9	15.9
	◇科学館		11.8	19.1	22.4
	◇かわな野外活動センター			28.2	43.9
	◇その他		10.9	15.5	18.7

<b>宣言8 魅力ある先生を育てます</b>					
8-1	「はままつ発 教師宣言」に基づく意識の高揚	93.8	100.0	99.1	100.0
	校内研修の充実	99.1	100.0	100.0	100.0
	校外研修参加のための体制作り	87.5	100.0	100.0	100.0

<b>宣言9 教育環境づくりを進めます</b>					
9-1	安全教育の充実		98.2	100.0	100.0
	安全ボランティア等との連携		98.2	97.3	100.0

### (3) 中学校

※   は、全ての中学校で取り組むこと(100%)を目指す項目

取組内容		19年度 (%)	20年度 (%)	21年度 (%)	22年度 (%)
<b>宣言1 夢と希望をはぐくむ園・学校をつくります</b>					
1-1	夢と希望をはぐくむ取組	92.0	100.0	100.0	100.0
	子どもや地域の実態に応じた教育課程	86.0	100.0	100.0	100.0
	地域の人物・資源を生かした学習・体験			93.8	100.0
	学期ごとの三者面談	70.0	95.8	97.9	100.0
1-3	学校評価システムの確立	90.0	100.0	100.0	100.0
	教育活動理解のため取組内容	(1つ以上選択)			
	◇学校公開			91.7	100.0
	◇学校・学年・学級だより		89.6	97.9	100.0
	◇ホームページ	78.0	68.8	97.9	97.9
	◇各種懇談会		37.5	81.3	75.0
	◇学校案内(リーフレット)			50.0	50.0
	学校評議員制度を生かした学校づくり	76.0	97.9	100.0	100.0
	学校公開に参加しやすい工夫	64.0	95.8	97.9	100.0
	地域の行事や活動への参加呼びかけ	84.0	100.0	100.0	100.0
	園・学校間の連携・交流	78.0	97.9	100.0	100.0
	◇幼稚園と	15.4	68.8	79.2	77.1
	◇保育所と		27.1	33.3	33.3
	◇小学校と	89.7	89.6	100.0	100.0
	◇中学校と		18.8	22.9	16.7
	◇特別支援学校と		20.8	25.0	25.0
	◇高等学校と		22.9	33.3	35.4
	◇専門学校と			2.1	4.2
	◇大学と	7.7	14.6	10.4	8.3
	中学校区内の幼・小・中との連携・交流			100.0	100.0
	◇職員合同研修			79.2	87.5
	◇中学校教員の小学校での授業			39.6	25.0
	◇小学校教員の中学校での授業			6.3	4.2
	◇幼稚園教員の小学校での授業				
	◇保育・授業参観			68.8	68.8
	◇合同保育・合同授業			4.2	14.6
	◇園・学校行事における子どもの交流			68.8	79.2
	◇中学生の保育体験			75.0	70.8
	◇小学生の部活動体験			39.6	39.6
◇入学前の情報交換			100.0	100.0	
◇その他			8.3	4.2	

取組内容		19年度 (%)	20年度 (%)	21年度 (%)	22年度 (%)
<b>宣言2 豊かな心と健やかな体を育てます</b>					
2-1	道徳の授業公開			83.3	100.0
	道徳教育の充実	88.0	100.0	100.0	100.0
	読書活動の推進	86.0	100.0	100.0	100.0
	◇朝読書		100.0	100.0	100.0
	◇読み聞かせ		60.4	62.5	58.3
	◇授業における学校図書館の活用		72.9	70.8	77.1
	◇学校図書館補助員との連携		95.8	95.8	100.0
	人権教育の推進	62.0	100.0	100.0	100.0
	2泊以上の宿泊訓練	86.0	81.3	79.2	77.1
2-2	音楽文化に親しむ心の育成	82.0	100.0	100.0	100.0
	地域の伝統芸能や文化を大切にする心の育成	40.0	79.2	93.8	100.0
2-3	基礎体力の向上	80.0	100.0	100.0	100.0
	スポーツへの意欲・関心の喚起	94.0	100.0	100.0	100.0
2-4	保健指導・保健学習の充実	100.0	100.0	100.0	100.0
	食に関する指導の充実	78.0	85.4	89.6	95.8
<b>宣言3 確かな学力を育成します</b>					
3-1	少人数指導やTT等の指導の充実	100.0	100.0	100.0	100.0
	小学校高学年における教科担任制				
	支援員・補助員の有効な活用	54.0	100.0	100.0	100.0
	全国学力調査や市定着度調査の活用	74.0	100.0	100.0	100.0
3-2	「分かる授業 楽しい保育・授業」の充実	80.0	100.0	100.0	100.0
	市教委指導課発行資料の活用		100.0	97.9	100.0
	授業ガイダンスの実施	86.0	100.0	97.9	100.0
	評価規準の明示	52.0	81.3	79.2	83.3
	学習習慣の確立			100.0	100.0
<b>宣言4 ニーズに応じた子ども支援をします</b>					
4-1	教育相談の充実	86.0	100.0	100.0	100.0
	スクールカウンセラーや各種機関等との連携・協	68.0	100.0	100.0	100.0
4-2	不登校の子どもや保護者への支援体制の機能	90.0	100.0	100.0	97.8
	連携・協力している施設・機関				(1つ以上選択)
	◇適応指導教室			81.3	79.2
	◇チャレンジ教室			27.1	35.4
	◇ほっとエリア阿多古			12.5	14.6
	◇医療機関			81.3	81.3
◇その他			29.2	25.0	
4-3	障がいのある子どもへの校内支援体制の確立	92.0	100.0	100.0	100.0
	個別の支援計画・指導計画の作成と活用		100.0	100.0	100.0
4-4	外国人の子どもへの支援	67.5	100.0	100.0	100.0

取組内容		19年度 (%)	20年度 (%)	21年度 (%)	22年度 (%)	
<b>宣言5 社会の変化に対応できる能力を育成します</b>						
①	◇ものづくり教育		2.1	14.6	16.7	
	◇国際理解教育		4.2	12.5	25.0	
	◇環境教育		14.6	29.2	43.8	
	◇福祉教育		47.9	75.0	81.3	
	◇情報教育		8.3	18.8	37.5	
	◇キャリア教育		58.3	83.3	100.0	
	② 職場体験の日数					
	◇1日		2.1	2.1	4.2	
	◇2日		54.2	60.4	60.4	
	◇3日		43.8	37.5	33.3	
◇実施していない		0.0	0.0	2.1		

<b>宣言6 学校と家庭の連携を深めます</b>					
6-1	家庭教育への支援		85.4	91.7	100.0
6-3	PTA活動の充実		100.0	100.0	100.0

<b>宣言7 学校と地域の連携を強化します</b>					
連携・協力している団体・施設 <span style="float: right;">(1つ以上選択)</span>					
	◇地域(自治会・老人会等)		95.8	95.8	97.9
	◇青少年健全育成会		95.8	97.9	93.8
	◇ボランティア団体		35.4	39.6	58.3
	◇公民館		72.9	75.0	81.3
	◇図書館		16.7	22.9	33.3
	◇博物館		4.2	4.2	14.6
	◇青少年の家		2.1	2.1	12.5
	◇美術館		2.1	6.3	10.4
	◇天文台			0.0	0.0
	◇科学館		4.2	8.3	14.6
	◇かわな野外活動センター			8.3	25.0
	◇その他		14.6	10.4	12.5

<b>宣言8 魅力ある先生を育てます</b>					
8-1	「はままつ発 教師宣言」に基づく意識の高揚	94.0	100.0	100.0	100.0
	校内研修の充実	94.0	100.0	100.0	100.0
	校外研修参加のための体制作り	60.0	100.0	93.8	100.0

<b>宣言9 教育環境づくりを進めます</b>					
9-1	安全教育の充実		95.8	100.0	100.0
	安全ボランティア等との連携		75.0	87.5	87.5

参考資料

平成 22 年度 浜松市教育総合計画取組状況調査票 幼稚園

幼稚園名 ( )

浜松市教育総合計画の取組状況に関する調査です。「具体的な事業」に関する各設問に対して、今年度の自校の取組状況を振り返り、当てはまるものにチェックを入れてください。

◇印の設問は記述式です。200 字以内で答えてください。

\* 選択する項目については、必ずどれかを選択してください。(複数回答可の場合も必ず1つは選択してください。)

\* 年度内に実施予定の場合も、実施と見なして回答してください。

施策名	具体的な事業
宣言1 夢と希望をはぐくむ園・学校をつくります	
特色ある園・学校づくり	1-1 ①子どもの夢と希望をはぐくむための取組(体験活動や講演会等)を行っていますか。 ○いる ○いない
	②子どもや地域の実態に応じた教育課程を編成していますか。 ○いる ○いない
	③地域の歴史や人物・資源を生かした活動に取り組んでいますか。 ○いる ○いない ◇具体的に、どんな取組を行っていますか。一例を紹介してください。 ( )
	④学期ごとの三者面談(二者面談も含む)を計画・実施していますか。 ○いる ○いない ◇計画・実施していない場合、その理由を記入してください。 ( )
	1-3 ①園評価のシステムを確立し、園改善に生かしていますか。 ○いる ○いない ◇保護者や地域の声を、今年度の園改善にどう生かしましたか。一例を紹介してください。 ( )
	②園の教育活動を保護者や地域住民に理解してもらうために取り組んでいるものはどれですか。(複数回答可) ○園公開 ○園・学級だより ○ホームページ ○各種懇談会の実施 ○園案内(リーフレット)
	③地域に開かれた園づくりに努めていますか。 ○いる ○いない

開かれた園・学校づくり	④保護者や地域の人が保育公開や園行事に参加しやすいよう、日程や公開内容、行事内容を工夫していますか。 ○いる ○いない
	⑤子どもたちが地域の行事や活動に参加するように呼びかけていますか。 ○いる ○いない
	⑥他園・学校との連携・交流を図っていますか。 ○いる ○いない ※連携・交流を行っている幼稚園・学校（私立、公立等を問わず）について該当するものをすべて選択してください。 ○幼稚園 ○保育所 ○小学校 ○中学校 ○特別支援学校 ○高等学校 ○専門学校 ○大学 ○いない
	⑦同じ中学校区の幼稚園・小学校・中学校と連携・交流を図っていますか。 ○いる ○いない ※連携・交流を図っている内容について、該当するものをすべて選択してください。 ○職員合同研修 ○保育・授業参観 ○合同保育・合同授業 ○幼稚園教員の小学校での授業 ○園・学校行事における子どもの交流（遠足・運動会・音楽会等） ○中学生の保育体験 ○入学前の情報交換 ○その他 ◇具体的にどんな連携・交流を図っていますか。一例を紹介してください ( )
<b>宣言2 豊かな心と健やかな体を育てます。</b>	
こころの教育の推進	2-1 ①すべての教育活動を通じて規範意識の芽生えや思いやりの心を培う指導に努めていますか。 ○いる ○いない
	②読書活動を推進していますか。 ○いる ○いない
	③いろいろな機会をとらえて、人権教育を推進していますか。 ○いる ○いない
	◇心の教育推進のために工夫していることは、どんなことですか。 ( )
文化活動	2-2 ①音楽鑑賞会や発表会等の機会を通して、音楽文化に親しむ心を育てていますか。 ○いる ○いない
	②地域の伝統芸能や文化に触れる機会を設けていますか。 ○いる ○いない

2-4	①食に関する指導に取り組んでいますか。 ○いる ○いない
宣言3 確かな学力を育成します	
3-1	◇新幼稚園教育要領のもと、どのようなことに重点を置いて取り組んでいますか。 ( )
3-2	①保育・授業の充実を目指し、「分かる授業 楽しい保育・授業」に取り組んでいますか。 ○いる ○いない
	②指導課発行の「教職員版 はまつの教育」を活用していますか。 ○いる ○いない
	③自園に配置されているキッズサポーターを有効に活用していますか。 ○いる ○いない ○キッズサポーターの配置はない
	◇「幼児期に育てたい力」のうち、基本的な生活習慣の定着を目指して工夫していることはどんなことですか。 ( )
宣言4 ニーズに応じた子ども支援をします	
4-1	①様々な機会を利用して、教育相談の充実を図っていますか。 ○いる ○いない
	②必要に応じて、教育相談支援センターや各機関と連携・協力していますか。 ○いる ○いない
	◇教育相談の充実を図るために工夫していることを記入してください。 ( )
4-3	◇障がいのある子どもへの支援において工夫していることは、どんなことですか。 <u>該当する園児がいる場合のみ</u> 回答してください。 ( )
4-4	◇支援を必要とする外国人の子どものために、工夫していることはどんなことですか。 <u>該当する園児がいる場合のみ</u> 回答してください。 ( )
宣言6 学校と家庭の連携を深めます	
6-1	①保護者対象の講座や講演会を開催したり、たより等を通じた啓発活動をしたりして、家庭教育への支援をしていますか。 ○いる ○いない
6-3	①PTA 活動の充実に努めていますか。 ○いる ○いない
	◇具体的にどのような取組をしていますか。一例を紹介してください。 ( )
P T A 活 動 の 充 実	



平成 22 年度 浜松市教育総合計画取組状況調査票 小中学校  
 学校名 ( )

浜松市教育総合計画の取組状況に関する調査です。「具体的な事業」に関する各設問に対して、今年度の自校の取組状況を振り返り、当てはまるものにチェックを入れてください。  
 ◇印の設問は記述式です。200 字以内で答えてください。

- \* 選択する項目については、必ずどれかを選択してください。(複数回答可の場合も必ず 1 つは選択してください。)
- \* 年度内に実施予定の場合も、実施と見なして回答してください。

施策名	具 体 的 な 事 業
宣言 1 夢と希望をはぐくむ園・学校をつくります	
特色ある園・学校づくり	2-1 ①子どもの夢と希望をはぐくむための取組（体験活動や講演会等）を行っていますか。 <span style="margin-left: 100px;">○いる</span> <span style="margin-left: 100px;">○いない</span>
	②子どもや地域の実態に応じた教育課程を編成していますか。 <span style="margin-left: 100px;">○いる</span> <span style="margin-left: 100px;">○いない</span>
	③地域の歴史や人物・資源などを生かした学習や体験活動に取り組んでいますか。 <span style="margin-left: 100px;">○いる</span> <span style="margin-left: 100px;">○いない</span> ◇ 具体的にどんな取組を行っていますか。一例を紹介してください。 ( )
	④学期ごとの三者面談（二者面談も含む）を計画・実施していますか。 <span style="margin-left: 100px;">○いる</span> <span style="margin-left: 100px;">○いない</span> ◇ <u>計画・実施していない場合</u> 、その理由を記入してください。 ( )
	1-3 ①学校評価のシステムを確立し、学校改善に生かしていますか。 <span style="margin-left: 100px;">○いる</span> <span style="margin-left: 100px;">○いない</span> ◇ 保護者や地域の声を、今年度の学校改善にどう生かしましたか。一例を紹介してください。 ( )
	②学校の教育活動を保護者や地域住民に理解してもらうために取り組んでいるものはどれですか。(複数回答可) <span style="margin-left: 20px;">○学校公開</span> <span style="margin-left: 100px;">○学校・学年・学級だより</span> <span style="margin-left: 100px;">○ホームページ</span> <span style="margin-left: 20px;">○各種懇談会の開催</span> <span style="margin-left: 100px;">○学校案内(リーフレット)</span>
	③学校評議員制度を生かし、地域に開かれた学校づくりに努めていますか。 <span style="margin-left: 100px;">○いる</span> <span style="margin-left: 100px;">○いない</span>





	④評価規準等（どのような視点から評価を行っているか）を子どもや保護者に明示していますか。 ○いる ○いない
	⑤ 家庭学習の習慣づけを行うなど、学習習慣の確立に取り組んでいますか。 ○いる ○いない
<b>宣言4 ニーズに応じた子ども支援をします</b>	
教育相談の充実	4-1 ①教育相談の時間の設定等を工夫し、教育相談の充実を図っていますか。 ○いる ○いない
	②必要に応じて、教育相談支援センターや各機関、相談員、スクールカウンセラーと連携・協力していますか。 ○いる ○いない
不登校の子どもへの支援	4-2 ①不登校の子どもや保護者への支援体制が十分機能していますか。 ○いる ○いない ○不登校の子どもはいない ◇「 <u>いない</u> 」と回答した場合は、その理由を記入してください。 ( )
	②必要に応じて、どんな施設や機関と連携・協力していますか。（複数回答可） ○適応指導教室 ○チャレンジ教室 ○ほっとエリア阿多古 ○医療機関 ○その他 ○不登校の子どもはいない
	◇ 不登校の子どもへの支援において工夫していることはどんなことですか。 ( )
障がいのある子どもへの支援	4-3 ①発達支援教育コーディネーターを中心に校内支援体制ができていますか。 ○いる ○いない
	②支援が必要な子どもに対して、個別の支援計画や指導計画を作成し活用していますか。 ○いる ○いない
	◇ 障がいのある子どもへの支援において工夫していることは、どんなことですか。 ( )
外国人の子どもへの支援	4-4 ①支援を必要とする外国人の子どものために、就学支援員や就学サポーター、派遣型支援教室（まなぶん）を活用したり、教育相談支援センター、日本語教室（はまっこ）や母国語教室（まつっこ）、と連携・協力したりしていますか。 ○いる ○いない ○支援が必要な外国人の子どもは在籍していない
	◇外国人の子どもの学習支援・適応支援のために、上記以外で工夫していることがある場合は、【例】を参考に一例を紹介してください。 【例】 NPO などの協力 個別指導 放課後勉強室 学習テキストの作成 ( )





**浜松市教育総合計画  
(平成19年度～22年度)  
『はままつ人づくり宣言』  
検証報告書**

平成23年3月

編集・発行

浜松市教育委員会教育総務課

浜松市中区中央一丁目2番1号

イーステージ浜松オフィス棟

TEL 053-457-2401

FAX 053-457-2404

E-mail k-kikaku@city.hamamatsu-szo.ed.jp

ホームページURL

<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/shikyoi/index.htm>